

■四賀光子 歌人。太田水穂と結婚し、{潮音}を共同運営、夫の死去後も、歌壇女流中の最長老として活躍した。

しがみつこ

内閣発足・・・1885＝ 長野県長野に生れる。有賀盈重の次女。母は万代。本名太田みつ。

帝国憲法発布1889＝ 4歳：

父は教育者で和歌・漢詩・書道・南画をたしなみ、光子は多分にその影響をうけた。

日清戦争始・1894＝ 9歳：

長野師範学校女子部を経て、同県松本市の小学校教員となる。

日比谷公園・1903＝18歳：太田水穂を知り、{この花会}に参加、作歌を始める。

この間、_若山牧水・北原白秋を知り、

日露戦争終・1905＝20歳：_ {山上湖上}の付録に短歌を発表、水穂と婚約、東京女子高等師範学校文科に入学。

在学中、植村正久の富士見町教会に通う。

伊藤博文暗殺1909＝24歳：

_同校を卒業し、水穂と結婚。以後、会津女学校・成女女学校・東京府立第工局等女学校で教鞭をとりながら、{創作}に短歌を発表して活躍。

明治天皇没・1912＝27歳：

21ヶ条要求・1915＝30歳：*水穂が{潮音}を創刊すると同人として参加し、その運営にもあずかる。

原敬首相暗殺1921＝36歳：

護憲三派圧勝1924＝39歳：歌集「藤の実」、

海軍軍縮条約1930＝45歳：

満州事変・・・1931＝46歳：

日中戦争始・1937＝52歳：

健保+総動員 1938＝53歳：歌集「朝月」、

第二次大戦始1939＝54歳：

日米開戦・・・1941＝56歳：

敗戦・・・・・・1945＝60歳：

新憲法施行・1947＝62歳：歌集「麻ぎぬ」、

極東裁判決・1948＝63歳：

独立回復・・・1951＝66歳：歌集「双飛燕」(水穂と共著)、

55年体制始・1955＝70歳：*水穂の死去後は、養嗣子青丘とともに同誌の主軸となる。当時歌壇女流中の最長老で、

なべ底不況・1957＝72歳：歌集「白き湾」。*以後、8年間、宮中歌会始の選者をつとめる。

温雅清純な叙情から直観的把握を深め、のち現実に即した平明な歌風に移る。

安保闘争・・・1960＝75歳：

タイタイ病始・1961＝76歳：「四賀光子歌集」が出版された。

いざなぎ景気1966＝81歳：

全共闘・・・・・・1969＝84歳：歌集「青き谷」、

日中国交回復1972＝87歳：歌集「花紅葉」。

田中角栄逮捕1976＝91歳：_没した。